

僕はこの東宇治中学校に入学し、いろいろな人に出会いました。そして、二年半経った今、東宇治中学校を誇りに思える点が二つあります。

まず、一つ目は認め合える友だちや先生がいることです。僕は中学校一年生の中ごろに突然学校に行きたくないと思い始め、体調も崩れやすくなっていき、学校に行くことが少なくなっていました。

しかし、気を遣いながらも一緒にいてくれる優しい友だちがたくさんいました。友だちや先生方に心配されるたびに嬉しくなって、学校に通うモチベーションもだんだん上がっていきました。その矢先、一年の終わりの一ヶ月が新型コロナウイルスの影響により、休校となってしまって、僕の中学一年生は唐突に終わりを迎えました。学校が休みになってしまい、次にみんなと会うときはクラスが替わり、新たな環境になることで、とても悲しい思いをしました。

新しいクラスには、仲の良い友だちが数人いたので少し安心しましたが、新型コロナウイルス対策で密を避けるために友だちとの関わりが少なくなりました。そんなとき、一人でいると、そっと喋りかけてくれる仲間がいました。僕はそのときのことを今でも思い出します。その子とは初めて喋ったにも関わらず、どこか温かい雰囲気包みこまれた気がしました。それからいろんな人と関わっていくうちに学校が楽しいと思い、休むことなく毎日登校することができました。そんなときに周りの人から「最近頑張っているね」とか「学校に来られるようになって良かったね」と声をかけてもらって、その度に嬉しくなっていました。他の人は普通にしていることだけれど、僕にはできないことだったので、すごく変わった気がしました。それから普通に学校に行けるようになりました。

僕が今、毎日学校に通えているのは、僕の頑張りを認め、応援してくれる人がたくさん東宇治中学校にいたからだ、今強く感じています。たくさんの人に支えられ、応援してもらった経験は、僕に勇気を与えてくれました。

二つ目は、支え合い、助け合える存在がいるということです。この中学校生活で、僕はこれまで何度もみんなに助けられました。悩んだり、困ったりしたときも一人ではありませんでした。誰かがいつも傍にいて手助けをしてくれました。

それを一番感じたのは、僕が二年生のときに生徒会本部役員に立候補したときです。たくさんの友達や先生に応援してもらい、僕は生徒会本部役員として頑張りたいという決意を固めることができました。いろいろな人に支えてもらい、無事生徒会本部役員になれたときにはすごく嬉しかったのと同時に、感謝の気持ちでいっぱいでした。たくさんの人が自分のために時間を使い、手伝ってくれたことはすごくありがたかったです。部活動の時間を割いてまで、僕のポスターや応援の横断幕、たすきを作ってくれた人、ステージに上がり応援演説をしてくれた人、応援してくれたたくさんの人がいたからこそ僕は勇気を出して生徒会本部役員に立候補できました。立候補できて本当に良かったなと心から思っています。

これらの経験から、僕はこの東宇治中学校はとても優しさに溢れた学校だと思います。ここにいる多くの仲間のおかげで、今僕は毎日学校に通って、勉強や行事、生徒会本部役員の活動を頑張ることができています。僕にとって、この東宇治中学校で過ごした日々は、一生忘れられない思い出です。僕を大切に思って行動してくれた友だちや先生たちを僕は大切な仲間だと思っています。